

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託
公募型プロポーザル選定結果報告書

令和3年4月

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等支援事業者
選考委員会

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等支援事業者選考委員会（以下「選考委員会」という。）では、審査基準及び応募事業者からの企画提案について、客観的かつ公平な審査を行い、契約候補者及び次席者を選定しました。

本選定結果報告書は、選考委員会における審査の過程及び結果について公表するものです。

令和3年4月28日

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等支援事業者選考委員会
委員長 奥山 寛幸

1 業務名称

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託

2 履行期間

契約日から令和6年3月29日まで

3 業務内容

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務は、朝霞市・和光市ごみ処理広域化協議会が令和2年5月に策定した『ごみ処理広域化基本構想』に基づき、新たに整備するごみ広域処理施設の規模及び処理方式等の基本事項を取りまとめたごみ広域処理施設整備基本計画及び和光市旧焼却場の解体に係る基本設計を行い、合わせて、最適な事業方式を選定するためにPFI等導入可能性調査を行うものです。

また、整備運営事業者との契約締結に至るまでの事業者選定手続きについて、技術的な面から支援するとともに、事業者提案について費用対効果分析を行うことを内容としています。

4 選定方式

本業務は、廃棄物に関する技術的知見の他、財務、法務に関する専門的なノウハウが要求されるものであり、検討過程において発生する様々な課題等に対し、技術力を活かした迅速かつ的確な課題解決能力が求められることから、提案者の技術力を評価することができる「プロポーザル方式」を採用し、技術・専門的な知見及び本業務と同種同様の業務実績を有する事業者から、あらかじめ設定したテーマに対する技術提案を広く公募により求め、本業務に最も適した事業者を選考するものとしています。

5 選定の経緯

令和3年2月18日（木）	ごみ広域処理施設整備基本計画策定等支援事業者選考委員会を設置
令和3年2月26日（金）	第1回選考委員会 ・プロポーザルの概要及び審査基準について
令和3年3月1日（月）	公募型プロポーザル実施要領の公表
令和3年3月12日（金）	質問票の受付期限
令和3年3月19日（金）	質問に対する回答
令和3年3月31日（水）	参加表明書等の提出期限【3者から提出】
令和3年4月28日（水）	第2回選考委員会 ・プレゼンテーション及びヒアリング ・価格審査 ・契約候補者及び次席者の選定

6 選考委員の構成（順不同）

朝霞和光資源循環組合職員（1名）

朝霞市職員（2名）

和光市職員（2名）

計5名

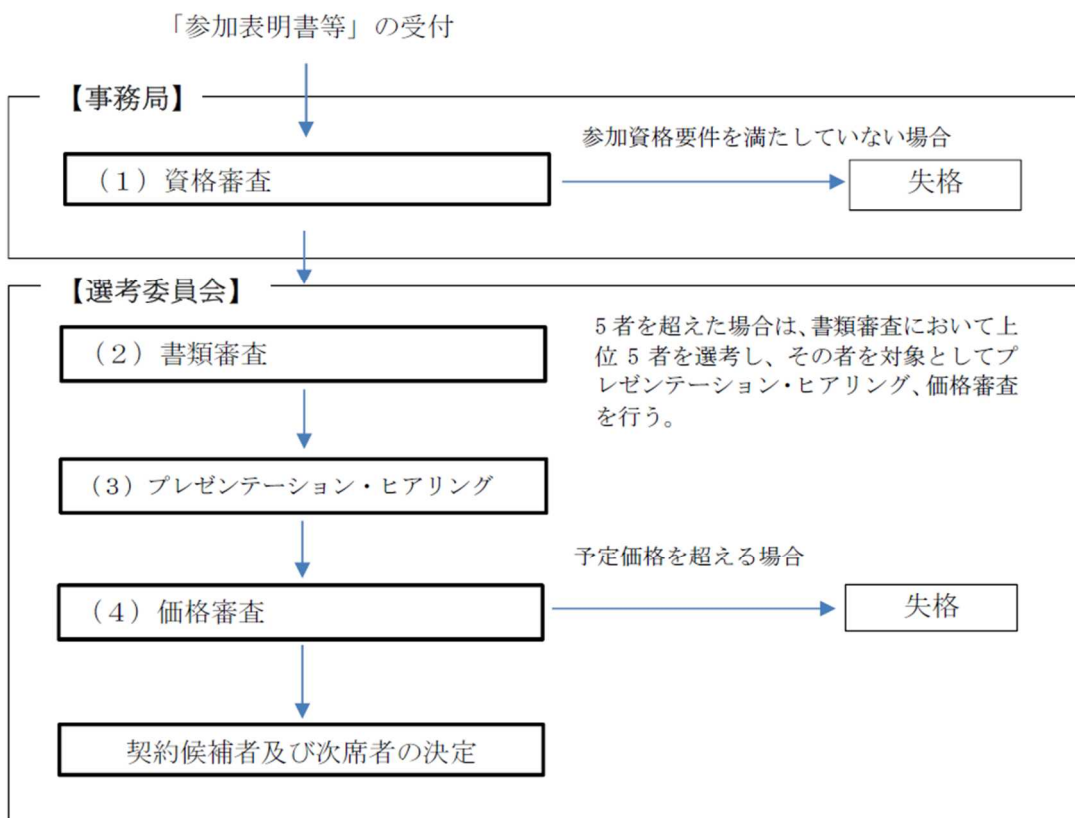
区分	氏名	職名
委員長	奥山 寛幸	朝霞和光資源循環組合事務局長
委員	清水 豊 ^{※1}	朝霞市市民環境部長
委員	渋谷 寿男	朝霞市市民環境部資源リサイクル課長
委員	伊藤 英雄	和光市市民環境部長
委員	末永 典子 ^{※2}	和光市市民環境部次長兼環境課長

※1 令和3年4月1日付人事異動により宮村 徹氏より変更

※2 令和3年4月1日付人事異動により亀井 誠氏より変更

7 契約候補者等の決定手順

ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託の契約候補者等については、次の手順で提案内容を総合的に審査しました。



8 審査方法

契約候補者等の選考は、事務局による資格審査を行った上で、選考委員会による書類審査、プレゼンテーション・ヒアリング及び価格審査の総合評価により実施しました。

総合評価点の配点割合（表1）



9 評価項目の配点及び評価の視点

評価項目及び配点は、「業務工程表」が10点、「実施体制について」、「業務実施方針及び具体的内容について」、「課題及び本業務における対応方策について」、「その他の独自提案について」の企画提案が50点、「プレゼンテーション及びヒアリング」が30点、「価格審査」が10点となる合計100点満点としました。

また、評価方法は、各評価項目について5段階で評価を行い、価格審査点と合わせた総合評価点の最も高い事業者を契約候補者として選定しました。

評価項目		配点	評価の視点
【書類審査】	業務工程表	10	<p>実施スケジュールは具体的かつ適切なものとなっているか。 以下の視点で、「5段階評価」を行う。</p> <p>① 前提条件及び業務内容を理解した工程計画になっているか。 ② 業務仕様書で想定している業務量が工程計画に反映されているか。 ③ 事業化に向けた円滑なプロセスが見て取れるか。 ④ 必要な作業を漏れなく把握し、記載しているか。</p>
	【特定テーマ1】 実施体制について	10	<p>業務に当たる事業者の実施体制が適切なものとなっているか。 以下の視点で、「5段階評価」を行う</p> <p>① 業務を確実に遂行できる人員体制が整っているか。 ② 管理・責任体制は十分であるか。 ③ バックアップ体制は十分であるか。</p>
	【特定テーマ2】 業務実施方針及び具体的内容について	15	<p>業務の目的や業務内容を適切に理解し、業務の実施方法が具体的かつ実現性を持って示されているか。 以下の視点で、「5段階評価」を行う。</p> <p>① 業務の理解度や認識は満足いくものになっているか。 ② 業務の実施方法・手順に具体性があり、実現性の高い提案となっているか。 ③ 提案者の経験や実績等から主体的な提案が示されているか。</p>
	【特定テーマ3】 課題及び本業務における対応方策について	15	<p>業務の留意事項を適切に理解しているか。また、対処方法は適切か。 以下の視点で、「5段階評価」を行う。</p> <p>① 課題を的確に理解しているか。 ② 適切かつ現実的な解決方策が提案されているか。 ③ 提案者の経験や実績等から主体的な提案が示されているか。</p>
	【特定テーマ4】 その他の独自提案について	10	<p>業務全般に係る事業者の独自提案に対して、以下の視点で、「5段階評価」を行う。</p> <p>① 経験・ノウハウを踏まえた提案か。 ② 事業への貢献度は高いか。 ③ 提案内容は実現可能であり、過大な内容となっていないか。</p>
【プレゼンテーション・ヒアリング】	プレゼンテーション及びヒアリングの内容	30	<p>業務に必要な専門性を有しているか、コミュニケーション能力及び業務への取組意欲は十分か。 以下の視点で、「5段階評価」を行う。</p> <p>① 管理技術者及び主任技術者の知識・経験を踏まえ、提案内容に説得力があるか。 ② テーマに関する補足説明が明確で、業務の目的をよく理解しており、業務に対する意欲が高いか。 ③ 提案内容の説明が十分であり、理解しやすいか。 ④ 質問に対する応答の明確性、迅速性が高いか。</p>
【価格審査】	価格	10	—
計		100	

10 価格審査

事業者から提出された見積書に記載された見積価格について次のとおり評価を行いました。

$$\text{見積価格の評価点} = \frac{\text{予定価格} - \text{見積価格}}{\text{予定価格} - \text{最低見積価格}} \times \text{配点 (10点)}$$

11 選定結果

審査の結果、以下のとおり契約候補者及び次席者を選定しました。

◎ 契約候補者：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店
総合評価点：81.1点

○ 次席者：パシフィックコンサルタンツ株式会社 埼玉事務所
総合評価点：80.6点

12 審査講評

今回、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に3者から参加表明書等の提出がありました。いずれの企画提案書もこれまで培われた経験に基づく創意工夫が盛り込まれた内容であり、各者に対して敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

その中でも、契約候補者となった「株式会社エイト日本技術開発 北関東支店」は、施設建設の各種課題について、類似施設における関連業務に関わったことのある技術者を、チームとして配置していることや、スケジュール管理を重要なポイントとして実施すべき具体的内容を掲げるほか、市民や議会への説明資料や各種成果物についてイラストや分かりやすい文章を意識した資料作成を行うなど、円滑な業務推進を重視している点が評価されたものと思います。また、リスクコストの抑制による事業費の適正化や競争性確保のための工夫など、広域化メリットを最大化するための具体的提案があったことが、高い評価に繋がったものと思います。

一方で、本業務は、令和5年度中の整備運営事業者との契約締結を念頭に、限られた期間の中で、手戻りなく各所との合意形成を図りながら、競争性を確保した上で、確実な事業スキームを構築していかなければならないため、受託者には、技術的かつ専門的知見からの総合的な支援を求めるもので、その位置づけは大変重要なものとなります。

また、市民参加についても重要な要素であり、将来にわたり両市のメリットを最大化できる広域処理施設整備事業の実現が求められるものであります。

業務仕様書及び提案された事項を確実に履行することはもとより、両市の市民そして、議会への説明責任が果たせるよう、持てる専門的知識やノウハウを遺憾なく発揮されることを希求いたします。